

安藤榮作



Photo 桐山尚子

響きあう 地平

A collaborative exhibition by Eisaku Ando & Hiroaki Nakatsugawa

ひとふりごとに、木に打ち刻まれた手斧の跡の集積によって表出した彫刻。
画面に対峙し、半ば即興的に動く手からほとぼした筆触によって表出した絵画。

安藤榮作と中津川浩章の創作は、呼吸そのもののようです。

一瞬一瞬の生(せい)の痕跡といえるものたちが立ち現れ、
ささやき、躍動するリズムの地平に耳を澄ませてみてください。

人はなぜ表現するのでしょうか。

同様に、表現されたものの何が観る人の心を震わせるのでしょうか。

その根源にふれる展覧会です。

2人の表現者が生み出す磁場が、鑑賞者とともに共振する空間をお楽しみください。

中津川浩章



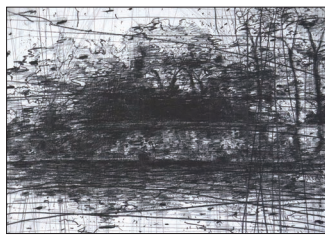
《ツインレイン》2024年



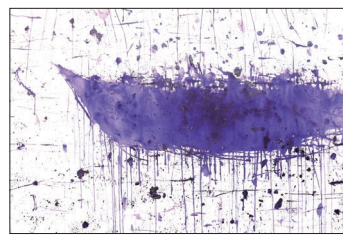
《帰還する魂たちへ》2026年

安藤榮作(刻み人) あんどう・えいさく 1961～

東京藝術大学彫刻科を卒業後、制作の場と自然環境を求めて福島県いわき市に移住。子育てや地域に関わる仕事をしながら彫刻制作とサーフィンに没頭する。2011年、東日本大震災にて被災し自宅、アトリエ、数百点の作品と愛犬を津波で失う。福島第一原発事故を機に奈良県に避難移住。原木や廃材を、ひたすら手斧を振り下ろし打ち刻む原始的な手法で制作。木との身体的な対話を通して彫り出された彫刻は、生々しい打痕がそのまま残る独特な木肌と形をもつ。平瀬田中賞(17年)、円空賞(19年)、芸術選奨文部科学大臣賞受賞(26年)。彫刻制作と並行して儀式的パフォーマンスや他ジャンルの表現者とのコラボレーションも展開している。



《光のドロ잉》2013年



《水の舟が空を飛ぶ》2025年

中津川浩章(美術家) なかつがわ・ひろあき 1958～

和光大学芸術学科卒業。単色(ブルー・バイオレット)の線描を主体とした、鮮烈なドロ잉・ペインティングによる作品を制作。筆や時に自身の手や指を使い、キャンバスに向き合ったその時の生(せい)のリアルやエネルギーを直接画面に叩きつけるように描く。障害がある人たちの表現活動に長年関わり、あらゆる人を対象にしたアートワークショップを全国で展開。「人間が表現することの意味」を福祉や教育の現場からもアプローチし、アートディレクション、講演、執筆など精力的に取り組んでいる。2020年、表現活動研究所ラスコーを立ち上げる。最新著書に『表現がうまれる アートと障害の現場から』(2026年 スタジオケイ)。

EVENT 関連イベント

参加無料(要観覧券)、申込等詳細はHPをご覧ください(申込受付 10/24～)。

EVENT 1 公開制作&クロストーク 「表現が立ち上がるとき」11月15日(日)

【公開制作】安藤榮作×中津川浩章 13:00～13:30

【クロストーク】安藤榮作×中津川浩章×田口ランディ(作家・鍼灸師) 13:45～15:30

定員 | 30名程度(先着順・要申込)

EVENT 3 ワークショップ 「内なる精霊と出逢う」12月20日(日)

10:30～15:30

講師 | 安藤榮作 対象 | 小学4年生以上

定員 | 10名程度(要申込・抽選) ※保険、材料代として500円いただきます。

自然の材料で
自分の内なる精霊を作り、
自然界に解放します。

EVENT 2 クロストーク 「みること、感じること、出会うこと」12月19日(土)

13:30～15:00

安藤榮作×中津川浩章×三ツ木紀英(アート・プランナー、NPO法人芸術資源開発機構代表理事)

定員 | 30名程度(先着順・要申込)

同日 おしゃべり鑑賞会も開催します♪ 10:30～12:00

ファシリテーター | 三ツ木紀英

対象 | 中学生以上 定員 | 10名程度(要申込・抽選)

展示作品について
思ったことを話しながら、
見ていきます。
知識は不要!

●担当学芸員によるギャラリーツアー

11月1日(日)、12月6日(日)、1月10日(日) いずれも11:00～(50分程度)

その他

湯河原リトリート 円荘のアートギャラリーにて、同時開催!

安藤榮作×中津川浩章「芸術家という謎の生き物」

主催・会場 | 湯河原リトリート 円荘(湯河原町宮上542-1 当館より徒歩1分)

公開日時 | 会期中(10/24～1/18)の金・土・日・祝 15:00～19:00

作品の奥にある、「芸術家という謎の生き物」の生態に迫ります。

湯河原町内の学校の授業でアートワークショップ開催!

「わたしの色、わたしのかたち、わたしの線」

ファシリテーター | 中津川浩章

参加校 | 湯河原小学校、吉浜小学校、東台福浦小学校、
県立小田原支援学校湯河原校舎

●子ども向け鑑賞ガイドを用意しています。 ●作家の滞在制作により、一部展示空間も変化していきます。

町立湯河原美術館
Yugawara Art Museum

〒259-0314

神奈川県足柄下郡湯河原町宮上623-1

<https://www.town.yugawara.kanagawa.jp/site/museum/>

公式
ホームページ



Tel.0465-63-7788

電車 | JR湯河原駅から「不動滝・奥湯河原」行きバスで約12分「美術館前」下車すぐ、又はタクシー約8分

自動車 | 国道135号線「湯河原駅入口」交差点を入り、道なりに約10分 駐車場有(美術館利用者は無料)

